

## 山岳部の利用対策について

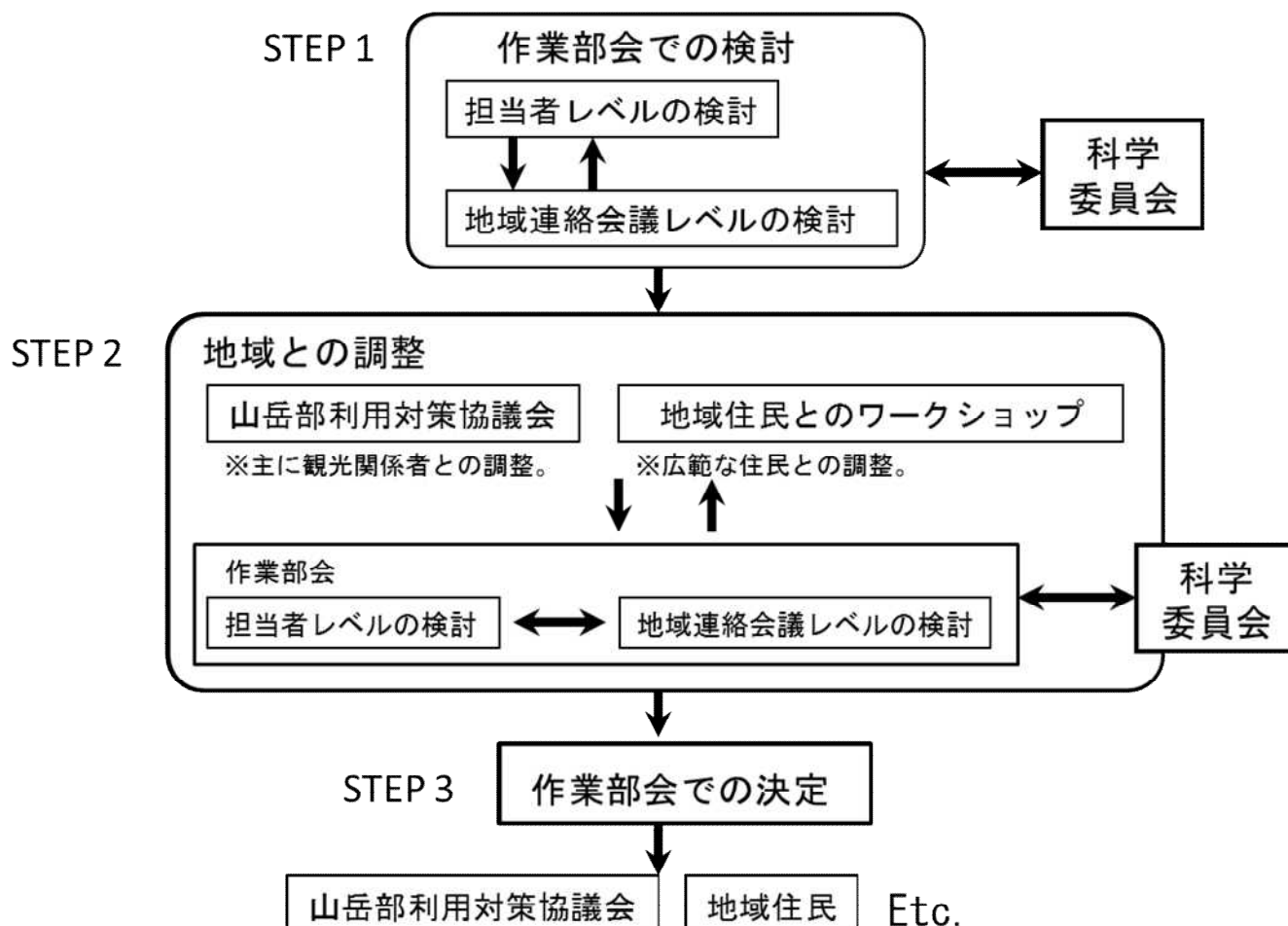
### 1. 背景

- ・関係行政機関では、登山道や縄文杉デッキ等の整備・維持、トイレの整備、し尿の全量搬出等の対策を協力して行ってきたが、利用者増加によって生じる問題は現在でもなお顕在化している。
- ・遺産地域の管理者として、長期的な対策の方向性を定めることを目的に、屋久島世界遺産地域を中心とした山岳部の利用のあり方について検討する“場”の設置を、九州地方環境事務所が提案。
- ・その後、縄文杉デッキの一部閉鎖に伴って縄文杉周辺の再整備について考えることが必要になったが、それも屋久島山岳部の利用のあり方を踏まえた上で、関連する課題とセットで考えることが必要。

### 2. 作業部会の位置付け等

- ・位置付け…… 屋久島世界遺産地域連絡会議の作業部会
- ・検討体制…… 屋久島町及び屋久島に駐在する行政機関の担当者レベルと世界自然遺産地域連絡会議レベルの2つレベルで検討
- ・事務局……… 九州地方環境事務所（屋久島自然保護官事務所）

### 3. 作業部会の進め方



#### 4. これまでの検討状況

- ・地域連絡会議レベルでの検討

平成 25 年 4 月 18 日（第 1 回）→ 検討会の設置を決定

平成 25 年 6 月 26 日（第 2 回）→ 縄文杉周辺の再整備を優先的に扱うことを決定

平成 25 年 9 月 5 日（第 3 回）→ 縄文杉周辺の再整備（北側デッキの撤去）方針を決定

- ・担当者レベルでの検討

平成 25 年 6 月 7 日（第 1 回）→ 検討の必要性について認識を整理

平成 25 年 6 月 20 日（第 2 回）→ 縄文杉周辺の再整備に関する認識を整理

平成 25 年 7 月 17 日（第 3 回）→ 縄文杉周辺の再整備についてスケジュールを提案

#### 5. 今後の検討スケジュール

##### 短期的な検討事項

- ・縄文杉周辺の再整備のあり方

作業部会による検討調整

地域関係者との調整、科学委員会への照会  
(10 月中)

環境省による現地植生調査及び整備設計  
(11 月末目途)

▼ 林野庁による北側デッキの撤去・ケーブリング補強  
(10 月～3 月末)

##### 中長期的な検討事項

- ・山岳部全体の保護と利用のあり方等

(～平成 26 年 10 月を目途に検討)

地域関係者との調整、科学委員会への照会  
(平成 26 年 1 月以降、随時)

▼ 環境省における整備計画の変更に反映  
(平成 27 年 3 月末目途)